

## 第 12 次八戸市農業計画における各地区の振興方向・振興農産物等について（案）

※下線部…変更箇所

地区名	第 11 次八戸市農業計画	第 12 次八戸市農業計画（案）
市川地区 (変更なし)	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の北部に位置し、奥入瀬川及び五戸川流域に水田地帯が開けています。田が耕地面積の 8 割を占めており、夏期は太平洋から吹き付けるやませ（偏東風）の影響を受けやすい地域です。 水田転作によるいちご栽培や大豆栽培が行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、小麦、大豆、いちご</p> <p><b>○振興方向</b> 水稲については、国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め、基幹作物として生産を継続するとともに、転作田を有効活用した施設いちご、並びに、集団的に生産されている小麦や大豆を中心とする複合経営の確立を促進します。 また、小麦や大豆生産のさらなる集団化を促進するため、農地の流動化を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、小麦、大豆、いちご</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の北部に位置し、奥入瀬川及び五戸川流域に水田地帯が開けています。田が耕地面積の 8 割を占めており、夏期は太平洋から吹き付けるやませ（偏東風）の影響を受けやすい地域です。 水田転作によるいちご栽培や大豆栽培が行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、小麦、大豆、いちご</p> <p><b>○振興方向</b> 水稲については、国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め、基幹作物として生産を継続するとともに、転作田を有効活用した施設いちご、並びに、集団的に生産されている小麦や大豆を中心とする複合経営の確立を促進します。 また、小麦や大豆生産のさらなる集団化を促進するため、農地の流動化を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、小麦、大豆、いちご</p>
下長地区 (一部変更)	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の北東部に位置し、馬淵川の北側に開けた水田地帯であり、耕地面積の 8 割が田となっています。 市街地に隣接し、混住化が進んでいます。 主要作物は水稲の他、トマト等の施設野菜、ねぎ等の露地野菜となっています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、トマト、ねぎ</p> <p><b>○振興方向</b> 都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図り、水稲栽培を基幹としながら、施設トマト栽培と露地ねぎ栽培を促進します。 また、都市化の進んでいる集落については、施設栽培による多品目生産を促進し、市民へ「新鮮」で「安全」な食料の安定供給を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、トマト、ねぎ</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の北東部に位置し、馬淵川の北側に開けた水田地帯であり、耕地面積の 8 割が田となっています。 市街地に隣接し、混住化が進んでいます。 主要作物は水稲の他、トマト等の施設野菜、ねぎ等の露地野菜となっています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、トマト、ねぎ</p> <p><b>○振興方向</b> 都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図り、水稲栽培を基幹としながら、施設トマト栽培と露地ねぎ栽培を促進します。 <u>水稲については、国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め、農地の集約化を図ります。</u> また、都市化の進んでいる集落については、施設栽培による多品目生産を促進し、市民へ「新鮮」で「安全」な食料の安定供給を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、トマト、ねぎ</p>

<p>上長地区 (一部変更)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の西部に位置し、馬淵川の北側に開けた水田地帯であり、耕地面積の6割が田です。 丘陵地では農地が造成されており、露地野菜栽培が行われています。 東北新幹線や東北縦貫自動車道の北方延伸、区画整理事業等により、都市的土地利用が漸次増加しています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、ごぼう、ながいも、にんにく、ピーマン</p> <p><b>○振興方向</b> 水稲については、基幹作物として、国の制度を利用しながら主食用及び飼料用の生産を継続するとともに、ごぼう、ながいも、にんにく等の露地野菜生産を促進します。 また、高齢化等に伴う労働体制の変化に対応し、重量野菜から軽量野菜のピーマンへの移行を促進します。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、ごぼう、ながいも、にんにく、ピーマン</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の西部に位置し、馬淵川の北側に開けた水田地帯であり、耕地面積の6割が田です。 丘陵地では農地が造成されており、露地野菜栽培が行われています。 東北新幹線や東北縦貫自動車道の北方延伸、区画整理事業等により、都市的土地利用が漸次増加しています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、ごぼう、ながいも、にんにく、ピーマン</p> <p><b>○振興方向</b> 水稲については、基幹作物として、<u>国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め</u>、主食用及び飼料用の生産を継続するとともに、ごぼう、ながいも、にんにく等の露地野菜生産を促進します。 また、高齢化等に伴う労働体制の変化に対応し、重量野菜から軽量野菜のピーマンへの移行を促進します。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、ごぼう、ながいも、にんにく、ピーマン</p>
<p>豊崎地区 (一部変更)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の西部に位置し、浅水川に沿って水田が開けており、耕地面積の割合は田5割、畑5割となっています。 ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにくを中心とした露地野菜栽培が行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにく</p> <p><b>○振興方向</b> 水稲については、国の制度を利用しながら生産を継続するとともに、現在、生産団地が形成されているピーマン、ごぼう、ながいも及びにんにくについては、生産技術の向上等により生産量の拡大を図ります。 また、高齢化に伴う労働体制の変化に対応し、重量野菜からピーマン等への移行を促進することにより、地域の実情に応じた安定的な営農体制の確立を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにく</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の西部に位置し、浅水川に沿って水田が開けており、耕地面積の割合は田5割、畑5割となっています。 ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにくを中心とした露地野菜栽培が行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにく</p> <p><b>○振興方向</b> 水稲については、<u>国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め</u>、生産を継続するとともに、現在、生産団地が形成されているピーマン、ごぼう、ながいも及びにんにくについては、生産技術の向上等により生産量の拡大を図ります。 また、高齢化に伴う労働体制の変化に対応し、重量野菜からピーマン等への移行を促進することにより、地域の実情に応じた安定的な営農体制の確立を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにく</p>

<p>館地区 (一部変更)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南西部に位置し、耕地面積の割合は田4割、畑6割となっています。 りんごの栽培が盛んであり、生産団地を形成している他、ミニトマトの施設野菜栽培も行われています。 東北新幹線や東北縦貫自動車道の北方延伸等により、都市的土地利用が増加しています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、ミニトマト、りんご、もも</p> <p><b>○振興方向</b> 水稲については、基幹作物として、国の制度を利用しながら飼料用及び主食用の生産を継続するとともに、現在、生産団地が形成されている施設ミニトマトについては、青枯れ病対策として抵抗性台木による接ぎ木栽培の導入を促進し、生産量の拡大を図ります。 りんごについては、紋羽病対策として新品種への改植を促進するとともに、ももへの改植も促進し、複合的な果樹生産体制の確立を図ります。 また、施設スナップエンドウの促成栽培に取り組むとともに、引き続き露地ねぎ栽培に取り組むことにより経営の充実を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、ミニトマト、スナップエンドウ、ねぎ、りんご、もも</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南西部に位置し、耕地面積の割合は田4割、畑6割となっています。 りんごの栽培が盛んであり、生産団地を形成している他、ミニトマトの施設野菜栽培も行われています。 東北新幹線や東北縦貫自動車道の北方延伸等により、都市的土地利用が増加しています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、ミニトマト、<u>スナップエンドウ</u>、りんご、もも</p> <p><b>○振興方向</b> 水稲については、基幹作物として、国の制度を利用しながら飼料用及び主食用の生産を継続するとともに、現在、<u>生産団地が形成されている施設ミニトマトの生産量の拡大</u>を図ります。 <u>りんごについては、紋羽病対策として、もも等への改植を促進し、複合的な果樹生産体制の確立</u>を図ります。 また、施設スナップエンドウの促成栽培に取り組むとともに、引き続き露地ねぎ栽培に取り組むことにより経営の充実を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、ミニトマト、スナップエンドウ、ねぎ、りんご、もも</p>
<p>是川地区 (一部変更)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南部に位置し、河川に沿って水田地帯が開けていますが、起伏が多く、耕地面積の7割が畑となっています。 ねぎ、ながいもを基幹作物とした露地野菜栽培、葉たばこ栽培、トマト等の施設野菜栽培が行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、ねぎ、ながいも、トマト、トルコギキョウ</p> <p><b>○振興方向</b> ながいも、ねぎ等の露地野菜栽培を基幹としながら、施設の導入による施設野菜・花き栽培による複合経営を促進します。 また、経営規模の拡大を図る農業者については、八戸平原地区の利用を促し、経営の安定と発展を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、ねぎ、ながいも、トマト、トルコギキョウ</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南部に位置し、河川に沿って水田地帯が開けていますが、起伏が多く、耕地面積の7割が畑となっています。 <u>ねぎ、ながいもを基幹作物とした露地野菜栽培、トマト等の施設野菜栽培が行われています。</u></p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 水稲、ねぎ、ながいも、トマト、トルコギキョウ</p> <p><b>○振興方向</b> ながいも、ねぎ等の露地野菜栽培を基幹としながら、施設の導入による施設野菜・花き栽培による複合経営を促進します。 <u>水稲については、国の制度を利用しながら生産を継続</u>します。 また、経営規模の拡大を図る農業者については、八戸平原地区の利用を促し、経営の安定と発展を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 水稲、ねぎ、ながいも、トマト、トルコギキョウ</p>

<p>大館地区 (変更なし)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b>  市の南東部に位置し、河川に沿って水田が開けていますが、耕地面積の8割は畑となっています。  水稻、露地野菜栽培を基幹とした経営が多いものの、施設花き栽培及び畜産等多様な農業生産が展開されています。  しかしながら、市街地に隣接し、混住化が進んでいます。</p> <p><b>○主に生産されている農畜産物</b>  水稻、花き、乳牛</p> <p><b>○振興方向</b>  都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図り、水稻については、国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め、主食用及び加工用として生産を継続するとともに、現在、定着している花き、乳牛等の農畜産物については、省力・低コスト生産を促進します。  また、水稻に関する集落営農組織が設立されており、さらなる生産面積の拡大を目指します。</p> <p><b>○振興する農畜産物</b>  水稻、花き、乳牛</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b>  市の南東部に位置し、河川に沿って水田が開けていますが、耕地面積の8割は畑となっています。  水稻、露地野菜栽培を基幹とした経営が多いものの、施設花き栽培及び畜産等多様な農業生産が展開されています。  しかしながら、市街地に隣接し、混住化が進んでいます。</p> <p><b>○主に生産されている農畜産物</b>  水稻、花き、乳牛</p> <p><b>○振興方向</b>  都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図り、水稻については、国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め、主食用及び加工用として生産を継続するとともに、現在、定着している花き、乳牛等の農畜産物については、省力・低コスト生産を促進します。  また、水稻に関する集落営農組織が設立されており、さらなる生産面積の拡大を目指します。</p> <p><b>○振興する農畜産物</b>  水稻、花き、乳牛</p>
------------------------	---	---

<p>南浜・美保野地区  (変更なし)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南東部に位置し、耕地面積の割合は田3割、畑7割となっています。 施設花き（花壇苗等）栽培の専業経営や水稲、露地野菜栽培の複合経営の他、大規模養豚・養鶏の産地が形成されており、県内でも有数の飼養地帯となっています。 また、南浜地区には、国営八戸平原総合農地開発事業によって農地が造成されており、露地野菜栽培が行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農畜産物</b> ごぼう、じゃがいも、スイートコーン、にんじん、にんにく、ながいも、ねぎ、花き、養豚、養鶏</p> <p><b>○振興方向</b> 既存の生産品目については、生産技術の向上に努めるとともに、生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。 また、アスパラガスの生産について検討し、農業経営の安定に寄与すると判断された場合は、生産を促進し、経営品目の充実を図ります。 農地造成地域については、農地の流動化を促進し、経営規模の拡大による生産性の向上により、農業経営の安定を図ります。</p> <p><b>○振興する農畜産物</b> アスパラガス、ごぼう、じゃがいも、スイートコーン、にんじん、にんにく、ながいも、ねぎ、花き、養豚、養鶏</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南東部に位置し、耕地面積の割合は田3割、畑7割となっています。 施設花き（花壇苗等）栽培の専業経営や水稲、露地野菜栽培の複合経営の他、大規模養豚・養鶏の産地が形成されており、県内でも有数の飼養地帯となっています。 また、南浜地区には、国営八戸平原総合農地開発事業によって農地が造成されており、露地野菜栽培が行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農畜産物</b> ごぼう、じゃがいも、スイートコーン、にんじん、にんにく、ながいも、ねぎ、花き、養豚、養鶏</p> <p><b>○振興方向</b> 既存の生産品目については、生産技術の向上に努めるとともに、生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。 また、アスパラガスの生産について検討し、農業経営の安定に寄与すると判断された場合は、生産を促進し、経営品目の充実を図ります。 農地造成地域については、農地の流動化を促進し、経営規模の拡大による生産性の向上により、農業経営の安定を図ります。</p> <p><b>○振興する農畜産物</b> アスパラガス、ごぼう、じゃがいも、スイートコーン、にんじん、にんにく、ながいも、ねぎ、花き、養豚、養鶏</p>
<p>旧市内  (変更なし)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の中心部に位置し、耕地面積の割合は田6割、畑4割となっていますが、大部分が市街化区域内にあり、農業への依存度は低く、露地野菜・花き栽培が点在して行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農畜産物</b> 野菜、花き</p> <p><b>○振興方向</b> 都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図りながら、都市緑化空間や防災空間としての役割も踏まえ、現在、定着している作物の省力・低コスト生産を促進します。</p> <p><b>○振興する農畜産物</b> 野菜、花き</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の中心部に位置し、耕地面積の割合は田6割、畑4割となっていますが、大部分が市街化区域内にあり、農業への依存度は低く、露地野菜・花き栽培が点在して行われています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> 野菜、花き</p> <p><b>○振興方向</b> 都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図りながら、都市緑化空間や防災空間としての役割も踏まえ、現在、定着している作物の省力・低コスト生産を促進します。</p> <p><b>○振興する農産物</b> 野菜、花き</p>

<p>島守地区 (一部変更)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南部、南郷地区の東部に位置し、新井田川水系流域に耕地が広がっており、耕地面積の8割が畑となっています。</p> <p><b>○主に生産されている農畜産物</b> 水稲、りんご、そば、葉たばこ、肉用牛</p> <p><b>○振興方向</b> 既存産地の生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。 また、ブルーベリー等の観光農園により、他地域の住民との交流を推進し、地域振興を図ります。 加えて、そばの生産については、市の制度を利用しながら継続し、地域農地の保全を促すとともに、平成26年度から開始したワイン用ぶどうの生産については、生産技術の向上に努め、生産量の確保を図ります。</p> <p><b>○振興する農畜産物</b> 水稲、りんご、葉たばこ、肉用牛、ワイン用ぶどう</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南部、南郷地区の東部に位置し、新井田川水系流域に耕地が広がっており、耕地面積の8割が畑となっています。 <u>果樹と葉たばこが栽培されており、生産団地を形成しています。</u></p> <p><b>○主に生産されている農畜産物</b> 水稲、りんご、そば、葉たばこ、肉用牛、<u>ワイン用ぶどう</u></p> <p><b>○振興方向</b> 既存産地の生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。 また、ブルーベリー等の観光農園により、他地域の住民との交流を推進し、地域振興を図ります。 加えて、そばの生産については、市の制度を利用しながら継続し、<u>地域農地の保全を促すとともに、葉たばこの生産については、作付けを維持しながら収穫量の確保に努めます。</u> 平成26年度から開始したワイン用ぶどうの生産については、生産技術の向上に努め、生産量の確保を図ります。</p> <p><b>○振興する農畜産物</b> 水稲、りんご、肉用牛、<u>ワイン用ぶどう</u></p>
<p>中沢地区 (一部変更)</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南部、南郷地区の西部に位置し、耕地面積の8割が畑となっています。 果樹と葉たばこ栽培が盛んであり、生産団地を形成しています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> ながいも、葉たばこ、そば、ブルーベリー</p> <p><b>○振興方向</b> 既存産地の生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。 また、ブルーベリー等の観光農園やグリーン・ツーリズムにより、他地域の住民との交流を推進し、地域振興を図ります。 加えて、そばの生産については、市の制度を利用しながら継続し、地域農地の保全を促すとともに、平成26年度から開始したワイン用ぶどうの生産については、生産技術の向上に努め、生産量の確保を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> ながいも、葉たばこ、ブルーベリー、ワイン用ぶどう</p>	<p><b>○立地条件及び農業生産の特色</b> 市の南部、南郷地区の西部に位置し、耕地面積の8割が畑となっています。 果樹と葉たばこが栽培されており、生産団地を形成しています。</p> <p><b>○主に生産されている農産物</b> ながいも、葉たばこ、そば、ブルーベリー、<u>ワイン用ぶどう</u></p> <p><b>○振興方向</b> 既存産地の生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。 また、ブルーベリー等の観光農園やグリーン・ツーリズムにより、他地域の住民との交流を推進し、地域振興を図ります。 加えて、そばの生産については、市の制度を利用しながら継続し、<u>地域農地の保全を促すとともに、葉たばこの生産については、作付けを維持しながら収穫量の確保に努めます。</u> 平成26年度から開始したワイン用ぶどうの生産については、生産技術の向上に努め、生産量の確保を図ります。</p> <p><b>○振興する農産物</b> ながいも、ブルーベリー、<u>ワイン用ぶどう</u></p>